

# きょういく・さど

令和8年6月1日  
佐渡市教育委員会  
学校教育課 第106号

## 「こどもまんなか社会」を目指して

教育長 香遠 正浩

昨年度の佐渡市の出生数は144人まで減り、依然として少子化が続いています。加えて、私立も含めて高等学校の授業料が無償化となったこともあり、今春島外の高校へ進学した生徒は50名を超えました。昨年までは20名に満たない数でしたので、約3倍に増えました。私は、この状況から小中学校における義務教育の重要性がますます高まっていると捉えています。特に、次の2点を重視すべきです。

1点目は、島外への流出の結果、島内の高校は定員割れとなり、高校に入るために勉強するという動機付けだけでは子どもに通用しない状況となっていることです。高校進学以外にも学習するモチベーションやメリットが感じられるかどうか、さらには学ぶこと自体が楽しいと思えるかがこれまで以上に重要になっています。学ぶ意欲が湧き上がるような授業づくりが求められます。

2点目は、高校進学時に島を離れる子どもが15%もいることを考えると、中学校卒業までに佐渡で生まれ、育てよかったですと思える子どもに育てたいということです。そのために、佐渡学の単元指導を通してこれまで以上に佐渡の自然・歴史・文化をはじめとした佐渡のよさを知り、その価値を語れる子どもに育てていただきたいと思います。

今年度、佐渡市は子ども若者課を教育委員会に移管する組織改編を行いました。これにより、教育委員会は教育と子ども・子育て施策を一体的に取り組んでいけるようになりました。

幼保小の架け橋期の円滑な接続をはじめ、子どもが生まれてから大人に成長するまで一人一人に寄り添い、一貫した支援体制で取り組み、「こどもまんなか社会」を目指します。



## 「当事者意識」と「組織の取組」で

管理主事 野口 幸雄

今年度の下越管内の非違行為根絶の重点指導事項は以下の3点です。

- 1 交通加害事故、速度超過違反防止
- 2 個人情報事故防止
- 3 公務災害事故防止

令和7年度の佐渡市管内の事故の結果は表のとおりです。

<R7 佐渡市管内の教職員事故件数>

	加害事故	速度超過	個人情報	公務災害
R7	3	0	11	5

特に、昨年度は佐渡市管内において個人情報の事故が多発しました。これを受けて、7月28日に「個人情報管理の徹底について」の通知を发出し、各校において個人情報の管理チェックリストを活用した職員研修を実施してもらいました。研修実施後（9月～3月）の個人情報の事故件数は、研修実施前（4月～7月）の件数より大きく減少しました。今年度も、年間計画に基づいて非違行為根絶研修を実施していると思いますが、実施して終わりではなく、**実施したことにより効果があったか（行動等に変容が見られたか）**をぜひ定期的に確認してみてください。

上記重点事項については、**本人の意識と組織での防止対策により確実に減らすことができます。**

教育は児童生徒、保護者、そして地域の方々と学校との深い信頼関係があって初めて成り立つ営みです。教職員の非違行為は、児童生徒の心を深く傷つけ、保護者や地域の方々と信頼関係を根底から覆し、教育に対する市民の信頼を著しく損ねるものであり、決して許されるものではありません。

子どもたちの笑顔のため、当事者意識をもち、組織での取組をお願いいたします。

## 「6月危機」を「成長の6月」へ

指導主事 田中 良樹

「6月危機」と呼ばれるように、6月は学級が荒れやすい時期です。新年度の緊張感も薄れ、子どもたちも教師も疲れや意欲の減退を感じやすい時期です。こんな時、学級のルールや子どもたちの人間関係（教師との関係、友達との関係）が崩れていると、生徒指導事案が増え、学級崩壊のリスクも高まります。

野中・横藤（2011）は、学級を安定させる「織物モデル」として、縦糸（教師と児童生徒の上下関係）と横糸（教師と児童生徒の心の通い合い）を張ることの重要性を述べています。そのチェックリストの一部が下のものです。ご自身の学級の様子を振り返ってみてください。

### 【縦糸のチェックリスト】

- 教師が話すとき、子どもたちは静かに教師の方を見て聞いているか。
- 子どもたちは教師に対して、敬語（丁寧な言葉遣い）で話しているか。
- 学習のルールはきちんと守られているか。

### 【横糸のチェックリスト】

- 子どもは、いろいろなことを話しかけてくるか。話しかけてこない子には、こちらから声をかけているか。
- 子どものよい点を伝えたり、褒めたりしているか。
- 教室に明るい笑いはあるか。冷ややかな笑いはないか。

縦糸の緩みを感じたのであれば、ルールの再確認を、横糸が足りないと思ったら、まずは明日、笑顔で子どもたちと挨拶を交わすことから始めてみませんか。よい学びの土台には、よい学級集団が欠かせません。「成長の6月」にするために学級経営の充実を図っていきましょう。

参考：「必ずクラスがまとまる教師の成功術！—学級を安定させる縦糸・横糸の関係づくり—」（野中知行・横藤雅人著・学陽書房 2011年）

## 自己指導能力を育成すること

教育指導主事 長尾 謙治

生徒指導において重要なのは、単に問題行動を未然に防いだり、規則を守らせたりするのではなく、児童生徒自身がよりよい生き方を主体的に選択して、行動できる能力、すなわち自己指導能力を育成することにあります。

小中学校の9年間において、児童生徒の発達段階に応じて、規範意識等を教える段階から、自分自身で考え、判断し、行動を調整するとともに、そのことに対して責任をもつ段階へ移行していくことが必要であると考えます。

学校生活は集団生活ですから、友人関係の悩み、学習の不安、感情のコントロールなど、児童生徒は様々な課題に直面することがあります。その際に、児童生徒の発達段階に応じた指導が必要になります。指導にあたり、常に教師が一方的な指示や注意を与えることに終始しては、児童生徒自身が受け身となり、自らの課題を主体的に考え、解決する力が育成されにくくなる点に留意しなければなりません。なぜ、そのような行動をしたのか、次はどのように行動したらよいのかを問いかけ、児童生徒自身に考えさせる関わりが重要です。こうした積み重ねが、自分を客観的に見つめ、より適切な行動を選択する自己指導能力の育成につながっていきます。

自己指導能力が育った児童生徒は、他者に依存するだけでなく、自分の行動に責任をもちながら学校生活を送ることができます。生徒指導は、教員が管理することに加えて、生徒が自立へ向かう過程を支える営みです。

日々の生徒指導は、全ての教育活動を通して行われます。児童生徒一人一人の成長と自立を願い、取り組んでいきましょう。

### 令和8年度 佐渡市教育委員会学校教育課の管理主事・指導主事を紹介します（★は新任）

管理主事 野口 幸雄（管理業務）

指導主事 源田 洋平（学習指導）

教育指導主事 山田 裕之（総合教育センター長）

★藤井 衛（キャリア教育）

長尾 謙治（生徒指導対応）

田中 良樹（学習指導）

古塩 正明（理科教育センター）

水谷 武（人権教育、同和教育・特別支援教育）

中川 久雄（不登校対応）

【令和7年度末退職】 教育指導主事 齋藤千賀子 お世話になりました